

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	6
○ 復興推進活動状況	_____	7	～	9
○ 流通促進活動状況	_____			10

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

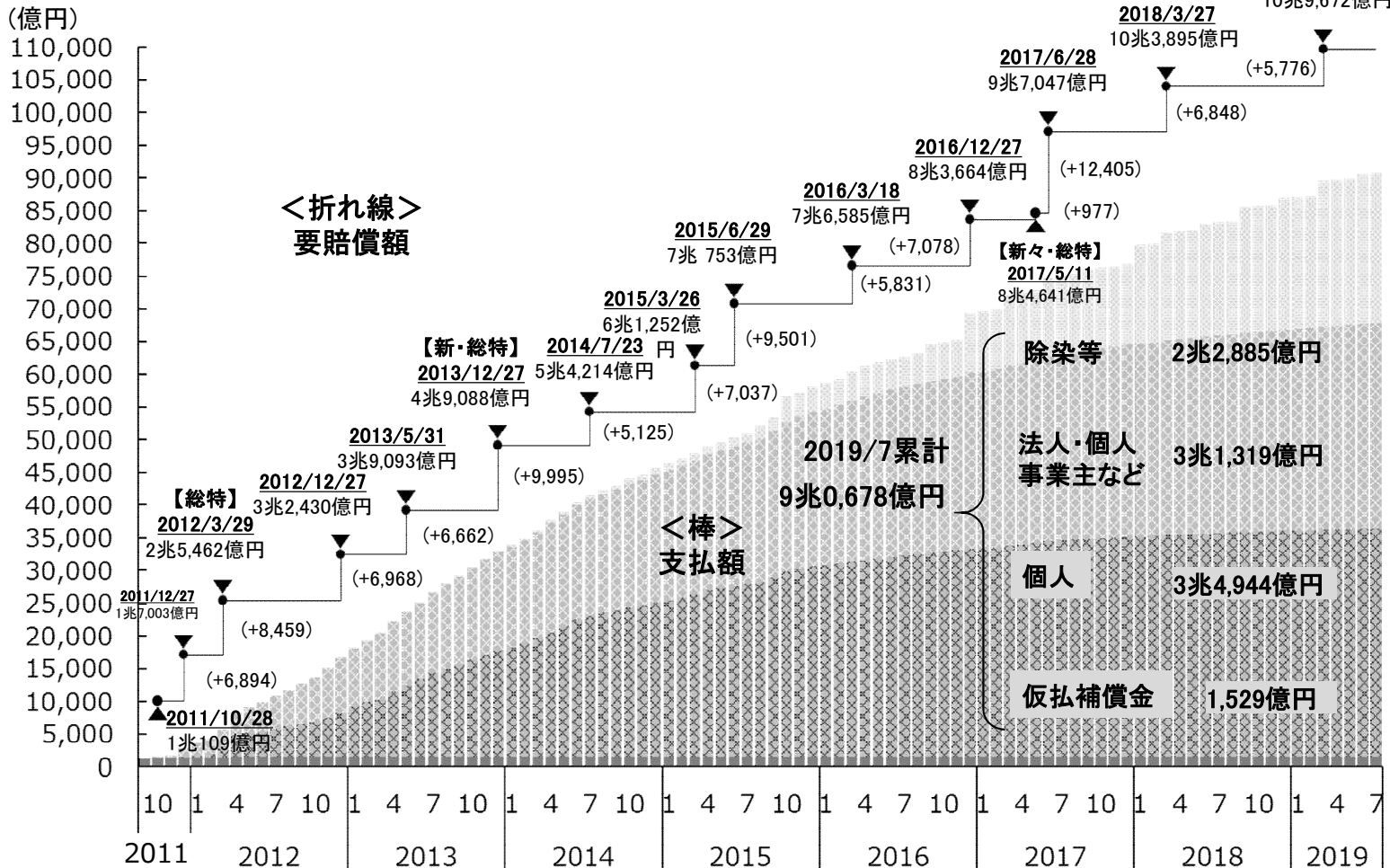
2019年7月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,408,000件	約498,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,278,000件	約430,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆4,944億円	約5兆4,205億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約8兆9,149億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約9兆0,678億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (3/19資金援助額変更申請)	合意いただけの実績※1 (2019年7月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,706億円	19,858億円
検査費用等	3,421億円	2,732億円
精神的損害	10,977億円	10,841億円
自主的避難等	3,626億円	3,626億円
就労不能損害	2,680億円	2,657億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	30,514億円	29,491億円
営業損害	5,297億円	5,238億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,200億円	17,875億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,171億円	2,476億円
間接損害等その他	3,844億円	3,901億円
III. 共通・その他	21,550億円	18,430億円
財物価値の喪失又は減少等	14,997億円	13,963億円
住居確保損害	6,303億円	4,216億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	36,900億円	22,885億円
合計	109,672億円	90,665億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 83%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2019年8月2日現在

申立件数		25,123件
解決件数		24,023件
	全部和解件数	19,337件
	取下げ件数	2,643件
	打切り件数	2,041件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		1,100件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより


※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは24,994件(7月末現在)

※当社に送達された件数は月平均で約124件(2019年度)

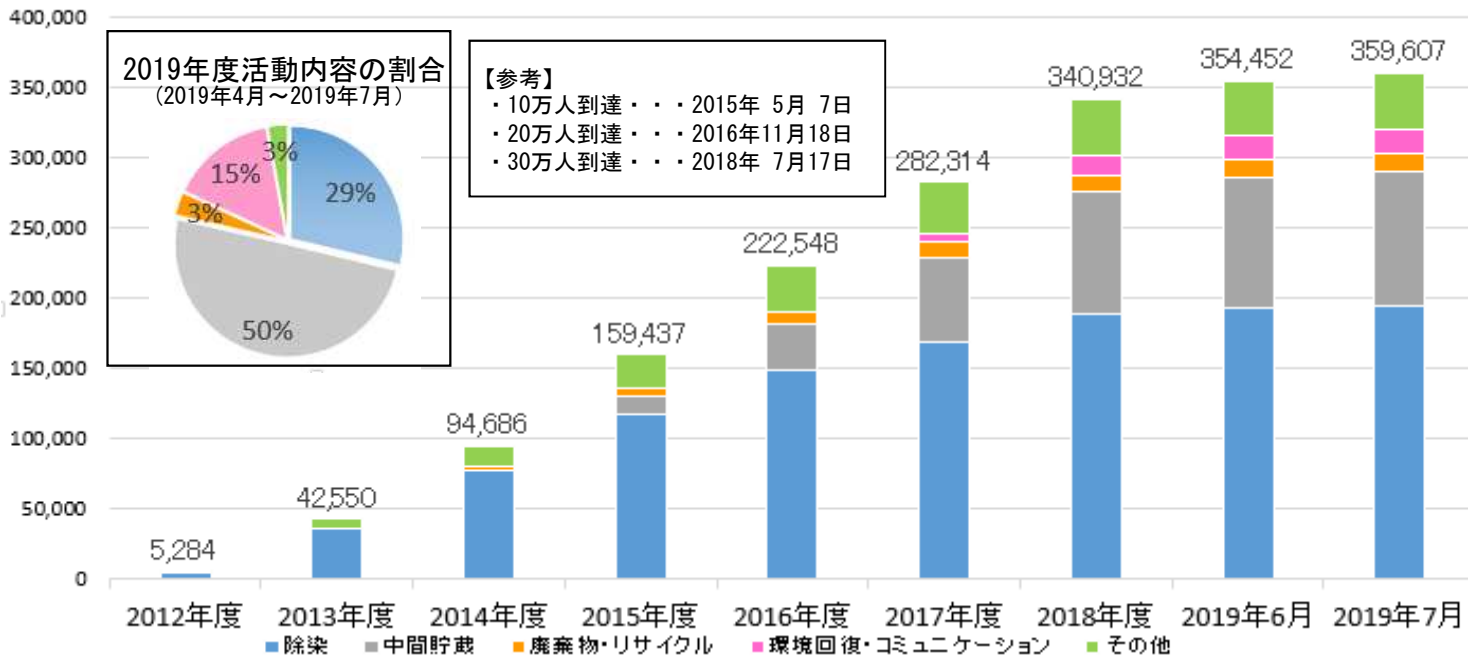
※現在進行中の件数のうち、40件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,177億円

7月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,458人 (28%)	2,658人 (52%)	88人 (2%)	736人 (14%)	215人 (4%)
7月の活動実績合計				5,155人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				359,607人

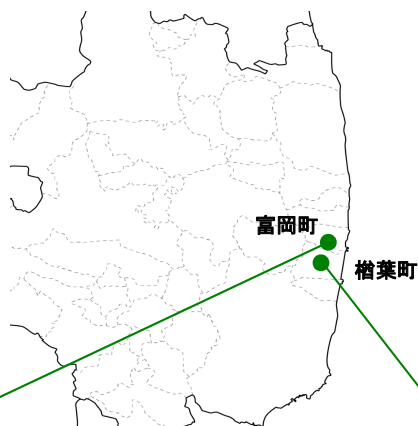
(人) [活動内容別実績 (累計)] 2013年1月～2019年7月



至近の主な取り組み



除染後の水田における緑肥栽培試験結果



楡葉町「天神原湿原」再生・保全への対応

除染後の水田における緑肥栽培試験結果

実施時期	2018年4月末～ ※継続実施中
実施場所	富岡町
実施概要	除染により地力が失われた後、耕作が再開されていない水田の地力回復、景観向上に向けて、緑肥植物の栽培試験を実施 ※緑肥植物とは、栽培後の田畑にすき込むことにより土壌改良の作用がある植物
試験結果	緑肥植物による地力回復に一定の効果があることが分かった

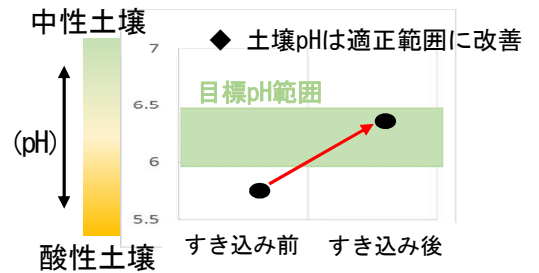
【1回目(2018年4月)の緑肥栽培の開花状況】

- ◆ ヘアリーベッチ2種とクリムソクローバーの計3種を栽培
- ◆ 3種類ともに種をまいた後、約1週間で発芽が認められた
- ◆ ヘアリーベッチ2種は、1ヶ月後に開花が認められたが、クリムソクローバーは、開花前に大半が水はけが悪かったため枯死した

ヘアリーベッチ



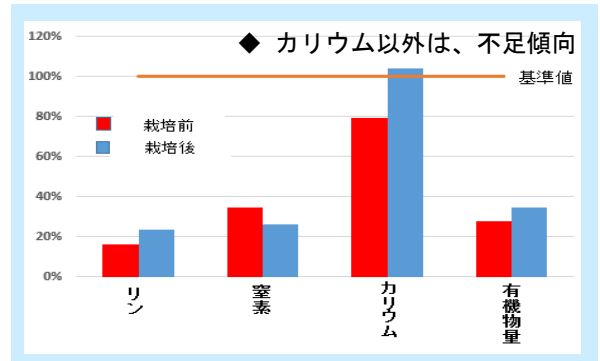
<土壌酸性度の比較>



クリムソクローバー



<栽培前後の土壌成分比較(水稲基準)>



【2回目(2018年11月)の緑肥栽培の開花状況】

- ◆ 1回目の緑肥植物のすき込み後に他種を加えた6種を栽培したところ、1回目よりも良好な成育、開花を確認



【取り組みの展開】

- ◆ 2019年7月10日、11日に開催された「第8回環境放射能除染学会の研究発表会(郡山市)」にて報告
- ◆ 栽培試験を継続し、地力回復を図る手法の検討
- ◆ 自治体等に提案し、地域復興の一助となるような取り組みを実施

檜葉町「天神原湿原」再生・保全への対応

実施時期 2017年1月～ ※継続実施中

実施内容 檜葉町「天神原湿原」について、檜葉町と連携し、再生・保全へ向けた取り組みを継続展開

実施場所 檜葉町

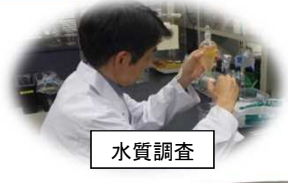
実施人数 社員 延べ375人

1. これまでの再生・保全の取り組み内容

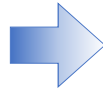
①事前調査【2017年3月】



・水位計設置
・枯草搬出



水質調査



②保全・再生活動（第Ⅰ期）【2017年4月～2018年1月】



ドローンによる植生調査



電気柵設置（イノシシ対策）

【当社の保有技術を活用】

- ・尾瀬等の環境保全で培ったノウハウ（環境調査、保全の計画立案・管理技術等）
- ・環境モニタリング技術（水質分析等）
- ・ドローンによる空撮技術（植生図作成等）



モウセンゴケ

カキツバタ

ノハナショウブ

オオミズゴケ

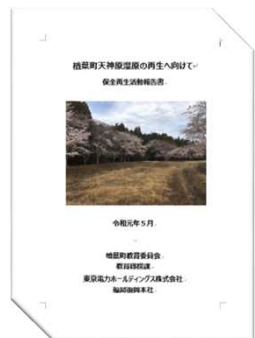
サワギキョウ

カキラン

上記希少植物6種含め58科171種（2018年1月時点）の生息を確認



⑤檜葉町と共同で報告書の発行【2019年5月】



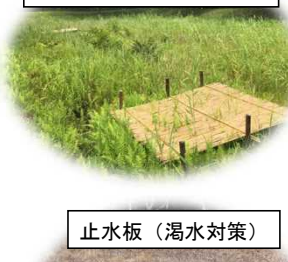
④保全・再生活動（第Ⅱ期）【2018年3月～継続実施中】

オオミズゴケなどの希少種の保全・湿原乾燥対策

散水（渇水対策）



よしず設置（日除け対策）



埋土種子からの希少食虫植物の再生試験



止水板（渇水対策）



③檜葉町との協議締結【2018年2月】

- ✓ 再生希少種の保全
- ✓ 絶滅したと思われる希少種の再生を目指す

2. 埋土種子からの希少食虫植物再生試験

- 絶滅したとされている希少な食虫植物（2種）の再生を目指す
- 湿原に種子が残っていることを期待し、発芽試験を実施中



ヒメタヌキモ



ムラサキミミカキグサ

<プランター再生試験>




- ・実施場所：檜葉町まなび館理科室前
- ・試験期間：2018年3月～継続実施中
- ・試験方法：プランターに湿原内で採取した土壌を敷き詰め、水位を土壌表面が浸かる程度に維持週に1回観察を行い、発芽状況と水温を確認し、適宜、外来種などの除去を実施

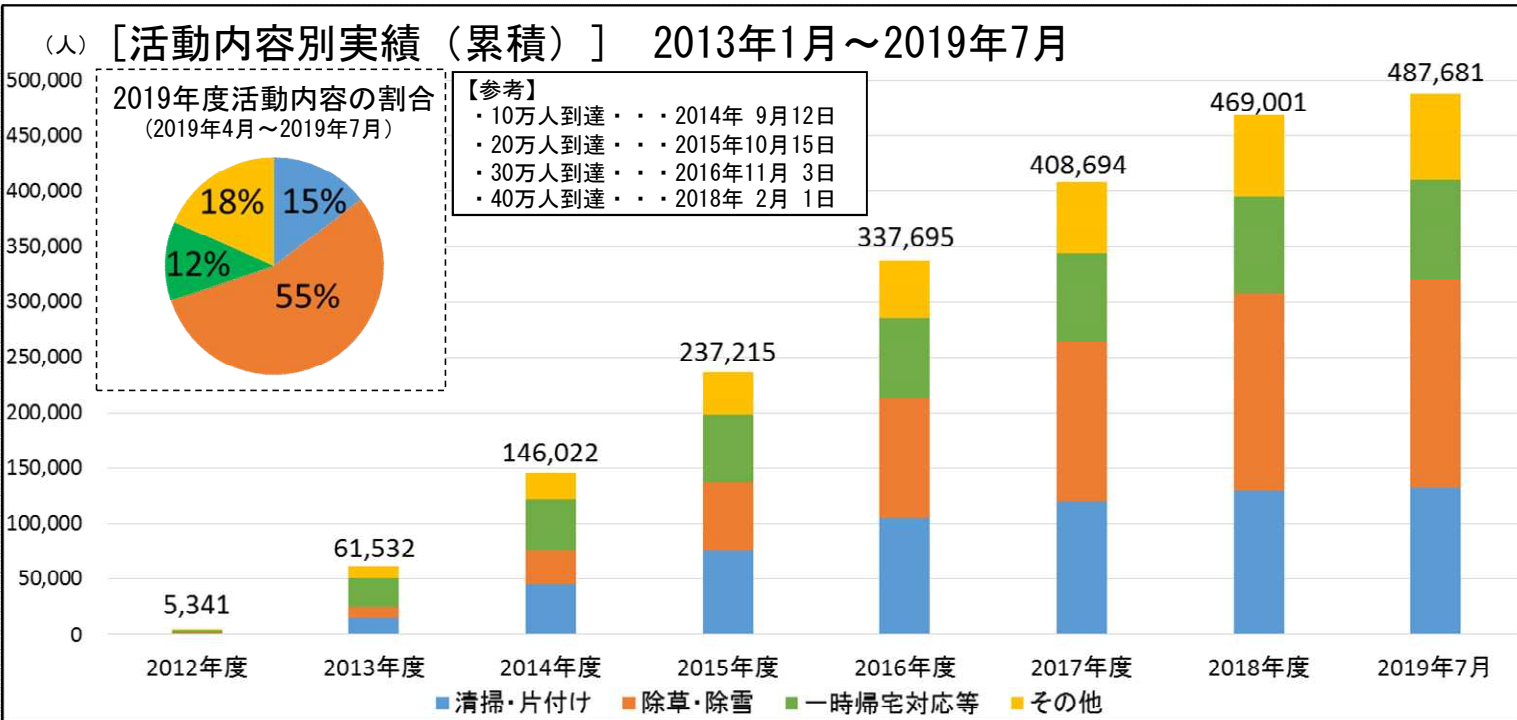


3. 今後の計画

- オオミズゴケ（準絶滅危惧種）の湿原乾燥対策の効果確認
- 埋土種子からの再生試験により天神原湿原の食虫植物など多様性の確保を目指す
- 檜葉町と連携して地元をはじめとした子どもたちへの環境教育などへの協力

7月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
282人 (5%)	4,060人 (69%)	591人 (10%)	963人 (16%)
7月の活動実績合計			
5,896人			
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			
487,681人			



至近の主な取り組み



「相馬野馬追」への協力と参加

地域行事・イベントへの協力と参加

- ▶ 地域行事・イベントは地域に賑わいが戻り、避難された住民の方々が故郷に戻る大切な機会であるため、各地で会場整備や櫓の設営・撤去、来場者案内や車両誘導などに協力させていただいている
- ▶ 一部のイベントでは当社の取り組みをお知らせするブースを出展するなど地域の方々と直接交流させていただいており、また、伝統的な行事(相馬野馬追のお行列、麓山の火祭りの担ぎ手など)にもお声掛けがあり参加させていただいた
- ▶ 2019年7月13日～8月25日の間に、20箇所の地域行事・イベントへ社員延べ633人が協力・参加



飯舘村
夏祭りイベント
[2019年8月11日撮影]



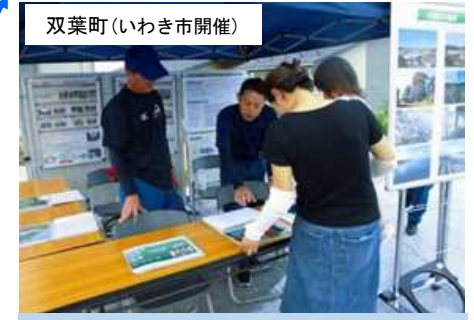
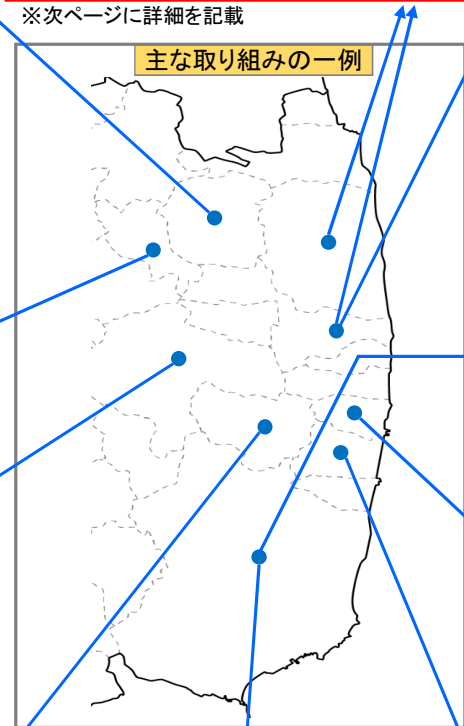
南相馬市・浪江町
相馬野馬追
[2019年7月27日撮影]



浪江町
なみえ夏祭り
[2019年8月10日撮影]



川俣町
山木屋夏まつり
[2019年8月15日撮影]



双葉町(いわき市開催)
復興公営住宅勿来酒井団地盆踊り
[2019年8月10日撮影]



田村市
都路灯まつり
[2019年7月31日撮影]



富岡町
麓山神社火祭り
[2019年8月15日撮影]



川内村
BON DANCE
[2019年8月15日撮影]



いわき市
第六回 浜の夏祭り
[2019年8月11日撮影]



檜葉町
サマーフェスティバル
[2019年7月13日撮影]

「相馬野馬追」への協力と参加

実施時期	2019年 6月21日、7月4日、8日～11日〔除草〕 7月17日～19日〔道路清掃〕 7月27日、28日〔会場設営・車両誘導・お行列参加〕 ※2013年から毎年協力・参加
実施場所	南相馬市、浪江町
実施人数	社員 延べ318人 〔除草・道路清掃：178人〕 〔会場設営・車両誘導：80人〕 〔お行列参加：60人〕 ※2013年から社員延べ1,522人が協力・参加（お行列には245人が参加）
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 南相馬市、小高神社、浪江町からのご依頼により、開催前には相馬小高神社境内の除草や、お行列のルートとなる道路の清掃を実施 当日は小高郷(南相馬市小高区)のお行列に参加の他、標葉郷(浪江町)の神旗争奪戦が行われる中央公園周辺の車両誘導や式典終了後の片付けに協力 火の祭では、騎馬行列が帰ってきた際の慰労を表す、かがり火の準備・点火のお手伝いも実施



南相馬市
運営手伝いの様子
[2019年7月28日撮影]



出典：国土地理院地図



南相馬市
お行列参加の様子
[2019年7月28日撮影]



南相馬市
かがり火準備の様子
[2019年7月28日撮影]



南相馬市
小高神社の除草の様子
[2019年7月10日撮影]



浪江町
車両誘導の様子
[2019年7月27日撮影]



浪江町
会場片付けの様子
[2019年7月28日撮影]

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【旬を迎えた桃の試食販売会を開催(あわせて福島県産米、福島牛等も販売)】

- 旬を迎えている福島県産の桃について、試食販売会を開催し、魅力ある福島県産品のPRを実施
- 今回の期間全体で、約7トンの桃を販売

＜クイーンズ伊勢丹様 14店舗＞

- ・クイーンズ伊勢丹様では、2月に引き続き、「発見！ふくしま」の販売会を開催し、連日来店・購入いただいたリピーターも出るなど、店舗様の想定を上回る好評を獲得

＜小田急百貨店様 新宿店＞

- ・当社が日頃から販売会でご協力いただいている青果店様や販売イベント会社様等を通じて、福島県産品販売会の開催を各百貨店様に打診したところ、小田急百貨店様 新宿店(新宿駅コンコース)において、8月2日～4日に販売会を開催いただけることとなった
- ・販売会では、地下食品売り場を含めて準備された3.5トンの桃が、最終日の終了2時間前に売り切れるなど、同会場では夏場として過去最高となる売上を記録
- ・地下食品売り場では「発見！おいしいふくしまフェア」として、12店舗で14種類の福島県産の桃を使用した惣菜やデザート、フレッシュジュースなどが販売され、多くの場所で「ふくしま」の文字が入った幟やPOPを掲示
- ・販売期間中においては、新宿駅南口の高島屋様 新宿店でも福島県による桃の販売会が開催され、新宿を訪れる多くの方に福島県産の桃を大々的にPRすることが出来た

開催場所	開催日	福島県産品の販売内容
東武百貨店様 池袋店、船橋店	2019年7月19日(金)・20日(土)	「桃・天栄米」の試食販売会
九州屋様 3店舗	2019年7月25日(木)・26日(金)	「桃・天のつぶ・福島牛」の試食販売会
クイーンズ伊勢丹様 14店舗	2019年7月25日(木)～28日(日)	「桃・会津コシヒカリ・福島牛」の試食販売会 ※横浜店は「会津コシヒカリ」の販売会
八木橋百貨店様	2019年7月27日(土)・28日(日)	「桃・天栄米」の試食販売会
小田急百貨店様 新宿店	2019年7月31日(水)～8月6日(火)	「桃」を使用した惣菜・デザート等を提供
	2019年8月2日(金)～4日(日)	「桃」の販売会、「天のつぶ」の試食販売会
松坂屋様 上野店	2019年8月2日(金)～4日(日)	「桃」の試食販売会
東急ストア様 プレッセプレミアム東京ミッドタウン店	2019年8月3日(土)・4日(日)	「桃・コシヒカリ・福島牛」の試食販売会



クイーンズ伊勢丹様
石神井公園店における試食販売会の様子



小田急百貨店様 新宿店
新宿駅コンコースの販売会の様子

本館・ハルクのジューススタンドでも福島産のジュースをご提供
旬果フルーツガーデン 本館地下2階=生鮮食品・グロスリ売場
ジューススタンドベジフルマリンジュース 本館地下2階=ハルクフード

地下食品売り場のメニュー(小田急百貨店様 新宿店のチラシより)